

# 議会レポート 5

住所：千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 発行：千代田区議会 自由民主党



小林たかや

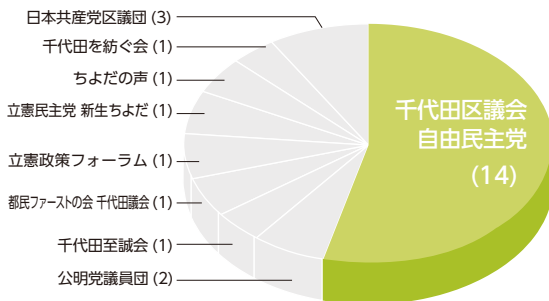


桜井ただし



小林やすお

### 千代田区議会の会派構成 (定数25)



千代田区議会  
委員会の活動  
(特別委員会編)



河合良郎



嶋崎秀彦



林 則行

景観・まちづくり  
特別委員会



たかざわ秀行

オリンピック・  
パラリンピック  
対策特別委員会



はやお恭一



内田直之



永田壮一

災害時要配慮者  
対策特別委員会



山田丈夫



池田ともりのり



うがい友義

文化財保存・活用  
特別委員会



西岡めぐみ

皆様のご意見をお聞かせください。  
〒102-8688  
千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階  
電話 03-5211-4320  
FAX 03-5275-6882  
千代田区議会 自由民主党

## 文化財保存・活用特別委員会（定数12名）

傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴	操作 卓				(議長) たかざわ秀行 委員長	ちよだの声 副委員長	公明党 議員団			
	書記		教育担当 部長	子ども部長				日本共産党区議団		
			子ども部参事 (子ども総務 課長)	地域振興 部長				日本共産党区議団		
		地域振興部参事 (コミュニティ 総務課長)	文化振興 課長	政策経営 部長				小林やすお		
		総務課長	道路公園 課長	行政管理 担当部長				林 則行		
		企画課長	施設経営 課長	文化スポーツ 担当部長・ オリンピック・ パラリンピック 担当部長				はやお恭一		
		財政課長	人事課長	環境まち づくり 部長				うがい友義 西岡めぐみ 永田壮一		
					都民ファーストの会 千代田区議会					
	▼ 出入口 ▼									



文化財保存・活用特別委員長

**たかざわ 秀行**

所属委員会

地域文教委員会

文化財保存・活用特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

調査事項▷文化財の保存・活用に関する調査

千代田区は、江戸開府以来の長きにわたり、政治・経済・文化の中心として発展し、郷土の歴史を伝える文化財や歴史的資料、伝統工芸など数多くの文化資源を有している。この貴重な文化資源が時代の変遷の中にあっても滅失や散逸等、価値を損なわずに保存・活用され、次代を担う人々に正しく継承していくことが区の責務であります。しかしながら、平成31年度当初予算審議において、長年にわたり文化財台帳が未整備であったことや、資料などの温湿度管理が一部不適切であり、適正な保管をするための設備が十分でないことなどの関連事項の予算執行に対する附帯決議が全員一致で議決した。また、「教育と文化のまち千代田区宣言」を踏まえ、区民の財産であり、貴重な文化財の本質的な価値が毀損されないよう、計画的に有形、無形を含めた現状の把握を行い、文化財に係る専門的知見を有する学識経験者や学芸員などの人材確保や収蔵設備の再整備、文化財の利活用の促進など、全庁的に取り組むことが不可欠であり特別委員会を設置。〈設置理由要旨〉

## 景観・まちづくり特別委員会（定数12名）

傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴 傍聴	特命担当 課長	財政管理 担当課長	施設経営 課長	(議長) 河合良郎 委員長	山田丈夫 副委員長	公明党 議員団				
	住宅課長	企画課長	行政管理 担当部長				日本共産党区議団			
	建築指導 課長	神田地域 課長	政策経営 部長				ちよだの声			
	環境政策 課長	麹町地域 課長	都市・ 都市計画 課長				桜井ただし			
	基盤整備 課長	地域まち 課長	まちづくり 担当部長				はやお恭一			
	道路公園 課長	環境まち 課長	環境まち 部長				内田直之			
				都民ファーストの会 千代田区議会			うがい友義			
				立憲民主党 新生ちよだ			立憲政策 フォーラム			
	▼ 出入口 ▼									



景観・まちづくり特別委員長

**河合良郎**

所属委員会

地域文教委員会

景観・まちづくり特別委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

調査事項▷まちづくりに関する諸計画（都市計画マスタープラン、景観計画、緑の基本計画、駐車場整備計画）及び地域まちづくりの動向に関する

千代田区では、地域特性を生かした魅力あるまちづくりの創設に向け、区民や事業者など、多様な主体とともにまちづくりに取り組んでいる。住民、企業、行政が協働で進めるまちづくりの方向性を定めた現行の都市計画マスタープランは平成10年に策定され、その目標年次は平成30年（2018年）から令和2年度（2020年度）までとなっている。策定から20年以上が経過する中で、人口の増加、大規模災害のリスクの高まり、ユニバーサル社会の進展、環境に配慮した持続可能なまちづくりの推進など、課題は高度多様化してきた。また、都市化が進んだ千代田区では、老朽化した市街地の機能更新が喫緊の課題となっていることから、平成30年度よりマスタープランの改定作業に着手をしてる。また、緑の基本計画、駐車場整備計画の改定も予定されています。本年4月1日から、区は地域における景観行政を担う景観行政団体へ移行した。景観法に基づき、景観行政団体として景観行政を推進するために、今後、景観計画の策定が必要であり、都市計画マスタープランの改定や諸計画との関連を確認しながら、その進捗状況等を確認していく必要がある。皇居を擁する本区にふさわしく、かつ地域の方々の意見や諸課題を踏まえたまちづくり及び都市景観について、精力的かつ詳細な調査を行うため、特別委員会の設置。〈設置理由要旨〉



景観・まちづくり  
特別委員会副委員長

**山田丈夫**

所属委員会

保健福祉委員会

議会運営委員会

景観・まちづくり特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会



## オリンピック・パラリンピック対策特別委員会（定数12名）



オリンピック・パラリンピック  
対策特別委員長

**小林やすお**

### 所属委員会

保健福祉委員会

議会運営委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保存・活用特別委員会

### 特別委員会とは

地方自治法第110条第1項の規定により特定の問題を調査する必要のある場合、本会議の議決により設置する委員会。千代田区議会では現在4つの特別委員会を設置。

毎年、決算については決算特別委員会。次年度予算や補正予算については予算特別委員会を設置。



災害時要配慮者等対策  
特別委員会副委員長

**池田とものり**

### 所属委員会

地域文教委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

傍聴		オリンピック・パラリンピック担当部長	(議長) 小林やすお 委員長	千代田至誠会 副委員長	嶋崎秀彦	たかざわ秀行
傍聴		オリンピック・パラリンピック担当部長				永田壮一
傍聴		環境まちづくり部長				山田丈夫
傍聴		道路公園課長				池田とものり
傍聴		基盤整備計画担当課長				西岡めぐみ
傍聴	特命担当課長	景観・都市計画課長				公明党議員団
傍聴			千代田を紡ぐ会	立憲政策フォーラム	日本共産党区議団	
傍聴	▼ 出入口 ▼		書記	操作卓		

### 調査事項▷オリンピック・パラリンピックに関する事項

東京2020、五輪・パラリンピック競技大会の開催を控え、「千代田区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト」を策定。地域、議会との協議を重ね、「北の丸公園周辺地域基本構想」に基づく、代官町通り、九段坂公園の整備などの施策に取り組んでいる。一方、区議会では、パラスポーツ理解推進としての体験イベントへの参加やパラスポーツ専門体育館、パラアリーナの視察を実施。

開催まで1年半を切った限られた時間内で、継続的な課題として区内開催種目を中心とした気運醸成事業、特にパラリンピックの成功とパラスポーツ推進のためのイベント開催と応援体制、期間中の災害対策とごみ対策のための取り組み、交通機関、会場周辺の混雑対策、熱中症・ヒートアイランド対策、ボランティアの募集・育成を行う必要がある。大会終了後も成熟した都市としてユニバーサルデザインの推進に取り組む必要があり、具体的な検討を行う必要があるため特別委員会を設置。〈設置理由要旨〉

## 災害時要配慮者対策特別委員会（定員12名）

公明党議員団	日本共産党区議団	立憲民主党新生ちよだ	千代田至誠会	千代田を紡ぐ会	操作卓	書記	▲ 出入口 ▲	傍聴
内田直之					災害対策・危機管理課長	高齢介護課長		傍聴
林 則行					行政管理担当部長	障害者福祉課長		傍聴
河合良郎					地域保健担当部長	福祉施設整備担当部長	地域保健課長	傍聴
嶋崎秀彦					保健福祉部長	福祉総務課長	在宅支援課長	傍聴
桜井ただし					教育担当部長	児童・家庭支援センター所長		傍聴
	池田とものり 副委員長	日本共産党区議団 委員長	(議長)		子ども部長	子ども施設課長	子ども支援課長	傍聴

### 調査事項▷大規模災害時の特別な支援を必要とする人への施策に関する調査

近年、東日本大震災や熊本地震、台風による土砂災害、水害など、多くの自然災害が発生し、日常生活や社会基盤に甚大な被害をもたらし、復旧・復興が大きな課題となっている。また、災害発生時に避難行動や避難生活において特別な援助や支援が必要な高齢者や障害者など、要配慮者への適切な対応や、復旧・復興に当たって長期化する避難生活や生活再建に至る段階での特別なニーズがクローズアップされてきている。さらには、災害時に福祉施設が入所者や利用者に必要なサービスを提供するための対策も大きな課題となっている。

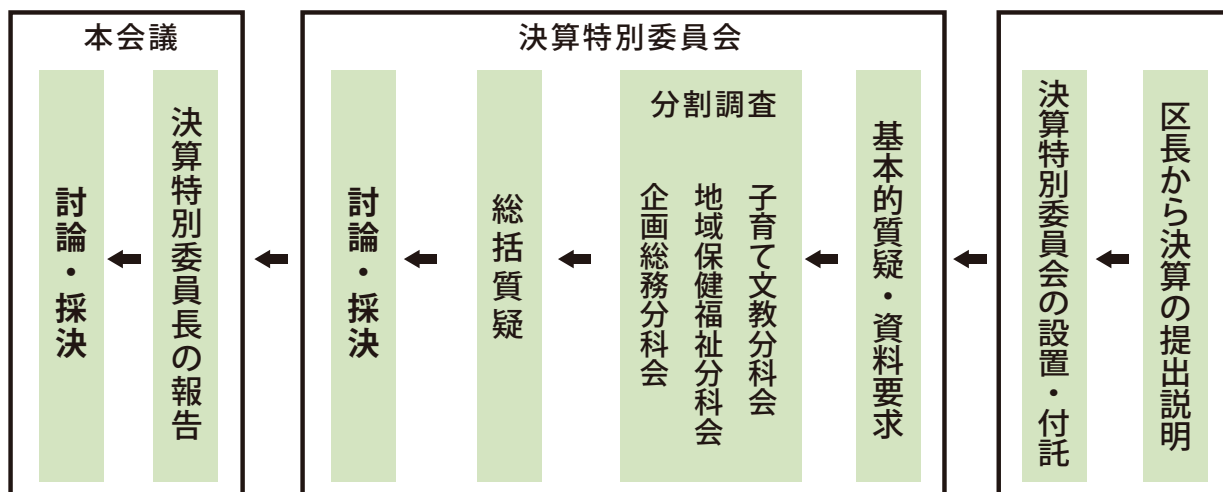
千代田区では平成30年に千代田区災害対策事業計画(2018～2024年度)を策定し、風水害対策、火山対策を新たに施策目標に加え減災のまちづくりを進めており、女性や災害時要配慮者に配慮した備蓄物資の整備にも力を入れている。しかし、避難行動、長期間の避難生活、避難生活終了後の生活再建の各段階における課題や災害時要配慮者のニーズの把握と必要な支援及び避難所のあり方についても検討し、対策を講じていく必要があり、特別委員会を設置。〈設置理由要旨〉

## 決算特別委員会（定員 25 名）

公明党議員団 副議長	小林たかや 議長	小林やすお 委員長	はやお恭一 副委員長	永田壮一 副委員長
桜井ただし 監査委員				内田直之 副委員長
河合良郎				嶋崎秀彦
林 則行				たかざわ秀行
公明党議員団				池田ともり
山田丈夫				西岡めぐみ
うがい友義				日本共産党区議団
立憲政策フォーラム				日本共産党区議団
千代田を紡ぐ会				日本共産党区議団
千代田至誠会				立憲民主党新生ちよだ
ちよだの声				都民ファースト千代田区議会

平成 30 年度各会計決算の審査を 3 つの分科会（企画総務分科会、地域文教分科会、保健福祉分科会）での分割調査を行いました。調査した後に、全議員で構成される総括質疑で、735 億円余の平成 30 年度予算の執行率など各会計決算の審査を行います。

## 千代田区議会における決算審査の流れ



## 平成 30 年度千代田区各会計歳入歳出決算の審査意見

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により、平成 30 年度千代田区各会計歳入歳出決算書、同各会計歳入歳出決算事項別明細書、同各会計実質収支に関する調書、同財産に関する調書及び関係書類を審査した結果、次の通り意見を付します。



千代田区監査委員 桜井ただし